

平成30年度中丹(東)地域リハビリテーション従事者研修会 開催要領

- 1) 目的：急性期から回復期、維持生活期までの継続した総合的なリハビリテーションにおいて、病院や施設から提供されるリハビリテーション情報提供書等を活用し、関係機関と連携がとれるリハビリテーション従事者を育成する。
- 2) 方針：①初心者にもわかりやすい基礎的な内容から応用まで
②すぐに使える実技を少人数制でわかりやすく説明
③顔なじみの講師陣（地域リハビリ協力病院施設、地域リハビリ支援センター）
- 3) 対象者：中丹地域において、在宅や施設、病院等で実際に利用者様のリハビリテーションに従事されている方（看護職、介護職、運動指導員、セラピスト、等）
定員40名
- 4) 日時：平成30年11月6日（火）～7日（水）2日間コース
- 5) 会場：舞鶴赤十字病院 東館講堂
※外来診療の関係で、駐車場は入場して右奥（伊佐津川方面）から駐車してください。
- 6) 内容：
 - 【11月6日】（火）10：00～16：40
 - 「インフォメーション」 10：00～10：40（40分）
＜講義＞地域リハビリテーションの概念、リハビリテーション情報提供書、連携方法等
 - 「すぐに使える摂食嚥下練習」 10：40～12：00（80分）
＜講義＞摂食嚥下障害、誤嚥の種類、嚥下テスト、嚥下訓練の基礎知識、生活上の工夫等
＜実技＞3分で出来る嚥下訓練、アイスマッサージ、食事介助手技など
 - 「リハビリ施設見学」 12：45～13：00（15分）
 - 「すぐに使える関節可動域（ROM）練習」 13：00～15：00（120分）
＜講義＞ROM練習、ストレッチの基礎知識、疾患別注意点、生活上の工夫など
＜実技＞ROM訓練、他動運動（上肢・下肢・体幹）、自動運動（上肢・下肢・体幹）
ベッドにおけるポジショニングのポイント
 - 「すぐに使える運動器機能向上練習」 15：00～16：40（100分）
＜講義＞筋力・筋持久カトレーニングの基礎知識、疾患別にみた運動時の注意点
アセスメント、運動機能向上、生活上の工夫など（症例紹介）
＜実技＞高齢者向けの筋力訓練、転倒予防体操、アセスメント
 - 【11月7日】（水）9：00～16：00
 - 「すぐに使える福祉用具（自助具）」 9：00～10：20（80分）
＜講義＞福祉用具の基礎知識、自助具、疾患別注意点、生活上の工夫など
＜実技＞自助具の作り方、使い方、車いすとシーティング
 - 「すぐに使える住環境調整」 10：20～11：40（80分）
＜講義＞住環境整備の意義、高齢者、障害者の住環境基礎知識、疾患別注意点
＜実技＞福祉用具、住宅改修上の工夫など
 - 「展示福祉機器紹介」 11：40～12：00（20分）
 - 「すぐに使えるトランスファーテクニック」 13：00～16：00（180分）
＜講義＞移動・移乗の基礎知識、疾患別注意点、生活上の工夫など
＜実技＞移動・移乗介助手技

【日程、会場、講師】

【1日目】

開催日 会場	摂食嚥下講師 (10:40~12:00)	ROM講師 (13:00~15:00)	運動機能向上講師 (15:00~16:40)
11/6 (火) 舞鶴赤十字病院	舞鶴赤十字病院 ST仁張和志	京都協立病院 PT三宅由美	舞鶴共済病院 白田祐司
		舞鶴共済病院 白田祐司	京都協立病院 PT三宅由美
	中丹東地域リハビリ支援センター PT久保綾子		
	中丹東地域リハビリ支援センター PT小幡彰一		

【2日目】

開催日 会場	福祉用具講師 (9:00~10:30)	住環境調整講師 (10:30~11:40)	トランスファー講師 (13:00~16:00)
11/7 (水) 舞鶴赤十字病院	舞鶴赤十字病院 OT今田恭典	舞鶴赤十字病院 OT今田恭典	舞鶴赤十字病院 PT青木敏晃
			北部リハビリ支援センター PT山元顕太
	中丹東地域リハビリ支援センター PT阿部由平		
	中丹東地域リハビリ支援センター PT小幡彰一		